

## 1 題材名 「プライベートゾーン」

## 2 題材について

本題材は、「宿泊学習に行こう」の単元の中で設定した。二次性徴も徐々に表れ始めるこの時期に、性別による違いや自分の体を大切にすることを学習することで、わかって行動する主体性を育てていきたい。

## 3 本時の学習

## (1) 目標

- ・男の子と女の子では、宿泊する部屋やトイレ、お風呂など、利用する場所が違うことに気付く。
- ・からだには大切な部分「プライベートゾーン」があることを知る。
- ・「プライベートゾーン」の約束を知る。

## (2) 展開

学習内容と児童の学習活動	教員の支援、手立て等	準備物
1. あいさつ	・姿勢を整える等、必要に応じて言葉がけや促しをする。	
2. はなし ・本時の予定を聞く。	・ホワイトボードに示した予定を確認しながら話す。	
3. 「男の子、女の子」 ・男の子と女の子の表に自分の顔写真を貼る。  ・学級の先生たちの顔写真も、考えてどちらかに貼る。 ・お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん（身近な大人）のイラストも同様に考えてどちらかに貼る。	・難しそうな児童には、「○○さんとは一緒かな？違うかな？」といった問いかけをする。 ・友だち同士で確認しあうように言葉がけをしたり促しをしたりする。 ・みんなで確認できるように注目させながら貼っていく。	男の子と女の子の表、子どもの顔写真
4. 宿泊学習の部屋割り発表 ・顔写真入りの部屋割り表を見る。 ・男女別になっていることに気付く。  ・他に男女別になっているものを考える。	・部屋割り表を見て気付くことを問う。 ・気付くように表の写真一人一人を確認し、男の子には青丸、女の子には赤丸をする。 ・他に男の子と女の子と違う場所があるか問いかける。 ・トイレの表示のマークを示したり温泉に行った時の写真を見せたりし、過去の生活経験から性に関する指導の目標と内容提示する。	顔写真入り部屋割り表  トイレ表示温泉に行った時の写真
5. 「プライベートゾーン」 ・なぜ、男女別になっているのか考える。  ・男女の体のイラストを見る。 ・プライベートゾーンを知る。 ・プライベートゾーンの約束をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">◎かくす ◎さわらない ◎見ない ◎友だちのも見ない、さわらない</div>	・トイレや着替えの場所、お風呂であることを思い出させたり、普段児童が使う表現（はずかしいよ、見たらダメなど）を用いて、考えるヒントを与える。 ・男の子と女の子では違うところがあることを伝える。 ・隠す部分を「プライベートゾーン」ということを伝える。 ・約束について、イラストを用いながら確認する。 ・お風呂では隠さずに洗う場所であることも伝える。	約束についてのイラスト
6. まとめ ・○×クイズに答える。  ・ロールプレイで断り方、逃げ方を練習する。	・日頃の学校生活の中で、起こることをクイズにし、確認する。 ・「プライベートゾーンを見せて」と言われたときの断り方をとりあげる。 ・これまでの学習経験から、具体的に言い方などを確認する。 ・実際にやってみたり教員の断り方を見たりする。	○×クイズ
7. あいさつ	・姿勢を整える等、必要に応じて言葉がけや促しをする。	